

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3③

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。																											
		●評価対象項目 ① 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。 ② 裏込材及び閉込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 ③ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料の組み合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 ④ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤ 護岸工の端部や垂線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 ⑥ 遊水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑧ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及び組み合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑨ 指定材料の品質が、証明書等で確認できる。 ⑩ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 ⑪ コンクリートブロック等を重ね敷き設置していることが確認できる。 ⑫ 施工にあたって、床掘箇所の高水及び湧水等は、排除して施工していることが確認できる。 ⑬ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑭ 有害なクラックが無い。 ⑮ その他 理由:		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比較(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきが判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	90%以上	80%以下	80%を超過																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													
II. 品質	隣接工事 (R.C床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。																											
		●評価対象項目 【工場製作関係】 ① 鋼材の種類、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 ② 溶接作業にあたり、作業員の技能確認を行っていることが確認できる。 ③ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 ⑤ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 ⑥ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 ⑦ 塗布作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ⑧ 現地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 ⑨ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 ⑩ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色別、数量が確認できる。 ⑪ その他 理由:		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比較(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきが判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	90%以上	80%以下	80%を超過																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													

17

別紙-3③

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。																											
		●評価対象項目 ① 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。 ② 裏込材及び閉込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 ③ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料の組み合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 ④ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤ 護岸工の端部や垂線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 ⑥ 遊水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑧ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及び組み合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑨ 指定材料の品質が、証明書等で確認できる。 ⑩ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 ⑪ コンクリートブロック等を重ね敷き設置していることが確認できる。 ⑫ 施工にあたって、床掘箇所の高水及び湧水等は、排除して施工していることが確認できる。 ⑬ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑭ 有害なクラックが無い。 ⑮ その他 理由:		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比較(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきが判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	90%以上	80%以下	80%を超過																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													
II. 品質	隣接工事 (R.C床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。																											
		●評価対象項目 【工場製作関係】 ① 鋼材の種類、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 ② 溶接作業にあたり、作業員の技能確認を行っていることが確認できる。 ③ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 ⑤ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 ⑥ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 ⑦ 塗布作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ⑧ 現地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 ⑨ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 ⑩ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色別、数量が確認できる。 ⑪ その他 理由:		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比較(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきが判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	90%以上	80%以下	80%を超過																														
90%以上	a	a'	b	b																													
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
60%未満	b'	c	c	c																													

17

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3④

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																							
3. 出実形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。 ●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験繰り返しを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、 <u>証明書類</u> で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が改善指示を行った。																									
		【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> コンクリート打設まで及び、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____		【地すべり対策工事(防止杭・集水井工事を含む)】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: _____		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を身数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にc評価とする。		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																												
	90%以上	80%以下																													
90%以上	a	a'	b																												
75%以上90%未満	a'	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c																												
60%未満	b'	c	c																												

注: 試験結果の打点数等が少なすぎる場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

別紙-3④

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																							
3. 出実形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。 ●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験繰り返しを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 6. 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋及び鋼材の品質を、 <u>適切に管理していること</u> を確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 9. その他 理由: _____		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が改善指示を行った。																									
		【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> 10. コンクリート打設まで及び、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. その他 理由: _____		【地すべり対策工事(防止杭・集水井工事を含む)】 <input type="checkbox"/> 17. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. その他 理由: _____		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を身数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にc評価とする。		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																												
	90%以上	80%以下																													
90%以上	a	a'	b																												
75%以上90%未満	a'	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c																												
60%未満	b'	c	c																												

注: 試験結果の打点数等が少なすぎる場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3⑦

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																					
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																							
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書等により確認できる。 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 フロント出荷時、現場到着時、締固め時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 締固め後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 縦線目及び横線目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 ウェア及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可		50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'			b	b'		75%以上90%未満	a'	b			b	b'		60%以上75%未満	b	b'			b	b'		60%未満	b'	c			c	c
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																										
	50%以下	80%以下	80%を超える																																										
評価値	90%以上	a	a'																																										
		b	b'																																										
	75%以上90%未満	a'	b																																										
		b	b'																																										
	60%以上75%未満	b	b'																																										
		b	b'																																										
	60%未満	b'	c																																										
		c	c																																										

別紙-3⑦

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																					
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																							
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書等により確認できる。 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 フロント出荷時、現場到着時、締固め時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 締固め後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 縦線目及び横線目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 ウェア及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可		50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'			b	b'		75%以上90%未満	a'	b			b	b'		60%以上75%未満	b	b'			b	b'		60%未満	b'	c			c	c
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																										
	50%以下	80%以下	80%を超える																																										
評価値	90%以上	a	a'																																										
		b	b'																																										
	75%以上90%未満	a'	b																																										
		b	b'																																										
	60%以上75%未満	b	b'																																										
		b	b'																																										
	60%未満	b'	c																																										
		c	c																																										

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3④

審査項目別運用表

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																								
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法特工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) 施工に際して、品質に害となる施工面の浮きやゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 金網の重ね幅が、<u>規定値</u>以上確保されていることが確認できる。 金網が破損を生じていないことが確認できる。 噴水性の吹付け面において、事前に噴水させてから施工していることが確認できる。 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 法面の吹付けにあたり、地山に当たって巻き込んで施工していることが確認できる。 その他 (理由:) <p>【現場打設工関係(プレキャスト法特工含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 枠内に空隙が無いことが確認できる。 層間にはく離が無いことが確認できる。 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。</p>		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下を超過</th> <th>ばらつきで判断不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>a''</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b''</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能				90%以上	80%以下	80%以下を超過	ばらつきで判断不可	75%以上90%未満	a'	a''	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c'	60%未満	b''	c	c	c'	
評価値	ばらつきで判断可能																															
	90%以上	80%以下	80%以下を超過	ばらつきで判断不可																												
75%以上90%未満	a'	a''	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c	c'																												
60%未満	b''	c	c	c'																												

20

別紙-3④

審査項目別運用表

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																								
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法特工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) 2. 施工に際して、品質に害となる施工面の浮きやゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 3. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 4. 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 5. その他 (理由:) <p>【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6. 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 7. ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 8. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 9. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 10. 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 12. その他 (理由:) <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 13. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 金網の重ね幅が、<u>1.0m</u>以上確保されていることが確認できる。 15. 金網が破損を生じていないことが確認できる。 16. 噴水性の吹付け面において、事前に噴水させてから施工していることが確認できる。 17. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 18. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 19. 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 20. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 21. 法面の吹付けにあたり、地山に当たって巻き込んで施工していることが確認できる。 22. その他 (理由:) <p>【現場打設工関係(プレキャスト法特工含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 23. 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 24. アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 25. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 26. 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 27. 枠内に空隙が無いことが確認できる。 28. 層間にはく離が無いことが確認できる。 29. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 30. その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「評価」とする。</p>		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下を超過</th> <th>ばらつきで判断不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>a''</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b''</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能				90%以上	80%以下	80%以下を超過	ばらつきで判断不可	75%以上90%未満	a'	a''	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c'	60%未満	b''	c	c	c'	
評価値	ばらつきで判断可能																															
	90%以上	80%以下	80%以下を超過	ばらつきで判断不可																												
75%以上90%未満	a'	a''	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c	c'																												
60%未満	b''	c	c	c'																												

20

新旧対照表

現 行 (平成31年4月)

改 正 (令和8年4月)

別紙-3①

考查項目別運用表

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況〔評価値〕から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 【抗腐係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 抗に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設抗の打止め管理の方法及び場所打抗の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 抗頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打抗について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、挿出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心和歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係る事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> </tr> <tr> <td>評 価 値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可			50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす	評 価 値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																		
	50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす																																	
評 価 値	90%以上	a	a'	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況〔評価値〕から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> </tr> <tr> <td>評 価 値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可			50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす	評 価 値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																		
	50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす																																	
評 価 値	90%以上	a	a'	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	

別紙-3②

考查項目別運用表

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況〔評価値〕から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 【抗腐係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 1. 抗に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 既設抗の打止め管理の方法及び場所打抗の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 抗頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 場所打抗について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 掘削深度、挿出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. ライナープレートの組み立てにあたり、偏心和歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係る事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. その他 理由：		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> </tr> <tr> <td>評 価 値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可			50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす	評 価 値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																		
	50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす																																	
評 価 値	90%以上	a	a'	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況〔評価値〕から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">ばらつきで判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> <td style="text-align: center;">80%を 満たす</td> </tr> <tr> <td>評 価 値</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可			50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす	評 価 値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可																																		
	50%以下	50%以下	80%を 満たす	80%を 満たす																																	
評 価 値	90%以上	a	a'	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c																																	
	60%未満	b'	c	c																																	

新旧対照表

現 行 (平成31年4月)

改 正 (令和8年4月)

別紙-3第

考査項目別運用表

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋 上部工事 (PC及びRCを 対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																						
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験値を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、<u>証明書類</u>で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <p>その他 {理由: _____}</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	50%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																											
	50%以下	80%を超過																												
90%以上	a	a'	b																											
75%以上90%未満	a'	b	b'																											
60%以上75%未満	b	b'	c																											
60%未満	b'	c	c																											

別紙-3第

考査項目別運用表

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋 上部工事 (PC及びRCを 対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																						
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験値を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 鉄筋の品質を、<u>適切に管理していること</u>が確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 有害なクラックが無い。 <p>その他 {理由: _____}</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%を超過</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。</p>							評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	50%以下	80%を超過	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																											
	50%以下	80%を超過																												
90%以上	a	a'	b																											
75%以上90%未満	a'	b	b'																											
60%以上75%未満	b	b'	c																											
60%未満	b'	c	c																											

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3第

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																				
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。																				
	●評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ケレンを入念に実施していることが確認できる。 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 鋼材表面及び被塗面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確認していることが確認できる。 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 10. その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価値</td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%を超過する</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%を超過する	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																									
	90%以上	80%を超過する																										
90%以上	a	a'	b																									
75%以上90%未満	a'	b	b'																									
60%以上75%未満	b	b'	c																									
60%未満	b'	c	c																									
トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。																					
●評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締めめ方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 金網の継ぎ目を1.5m以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが1.5cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、原状状態で施工していることが確認できる。 ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 15. その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価値</td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%を超過する</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%を超過する	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																									
	90%以上	80%を超過する																										
90%以上	a	a'	b																									
75%以上90%未満	a'	b	b'																									
60%以上75%未満	b	b'	c																									
60%未満	b'	c	c																									

別紙-3第

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																				
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。																				
	●評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5. 鋼材表面及び被塗面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 6. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確認していることが確認できる。 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 10. その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価値</td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%を超過する</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%を超過する	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																									
	90%以上	80%を超過する																										
90%以上	a	a'	b																									
75%以上90%未満	a'	b	b'																									
60%以上75%未満	b	b'	c																									
60%未満	b'	c	c																									
トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。																					
●評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3. 強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締めめ方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 5. 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 7. 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 9. 金網の継ぎ目を1.5m以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 10. 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが1.5cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 11. 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、原状状態で施工していることが確認できる。 12. ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13. 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 14. 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 15. その他 (理由:) 		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価値</td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%を超過する</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	90%以上	80%を超過する	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																									
	90%以上	80%を超過する																										
90%以上	a	a'	b																									
75%以上90%未満	a'	b	b'																									
60%以上75%未満	b	b'	c																									
60%未満	b'	c	c																									

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3②

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 樹木などに損傷、はらぐずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を埋り植穴底面を耕していることが確認できる。 苗木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 樹名板を視認しやすい場所に懸付けていることが確認できる。 その他 			<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 1.活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2.樹木などに損傷、はらぐずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 3.樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 4.施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 5.肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 6.植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を埋り植穴底面を耕していることが確認できる。 7.苗木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 8.樹名板を視認しやすい場所に懸付けていることが確認できる。 9.その他 ●理由: 			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">80%を超えない</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能																																
	90%以上	80%以下	80%以下																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
防護柵(柵)・標識・区画線等設置工事	防護柵(柵)・標識・区画線等設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 防護柵設置要綱、視認誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の床面下の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 ガードケーブルの端支を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 ペイント式(常置式)区画線に使用するシートの使用量が、1.0%以下であることが確認できる。 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線施工後の見聞及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 			<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 1.防護柵設置要綱、視認誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 2.防護柵等の床面下の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 3.防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 4.防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 5.基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 6.防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7.ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 8.ガードケーブルの端支を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 9.ペイント式(常置式)区画線に使用するシートの使用量が、1.0%以下であることが確認できる。 10.区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11.区画線施工後の見聞及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12.区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 13.区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 14.プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 15.区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16.その他 ●理由: 			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">80%を超えない</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能																																
	90%以上	80%以下	80%以下																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

別紙-3②

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 樹木などに損傷、はらぐずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を埋り植穴底面を耕していることが確認できる。 苗木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 樹名板を視認しやすい場所に懸付けていることが確認できる。 その他 ●理由: 			<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 1.活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2.樹木などに損傷、はらぐずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 3.樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 4.施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 5.肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 6.植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を埋り植穴底面を耕していることが確認できる。 7.苗木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 8.樹名板を視認しやすい場所に懸付けていることが確認できる。 9.その他 ●理由: 			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">80%を超えない</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能																																
	90%以上	80%以下	80%以下																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			
防護柵(柵)・標識・区画線等設置工事	防護柵(柵)・標識・区画線等設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 防護柵設置要綱、視認誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の床面下の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 ガードケーブルの端支を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 ペイント式(常置式)区画線に使用するシートの使用量が、1.0%以下であることが確認できる。 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線施工後の見聞及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ●理由: 			<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> 1.防護柵設置要綱、視認誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 2.防護柵等の床面下の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 3.防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 4.防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 5.基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 6.防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7.ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 8.ガードケーブルの端支を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 9.ペイント式(常置式)区画線に使用するシートの使用量が、1.0%以下であることが確認できる。 10.区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11.区画線施工後の見聞及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12.区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 13.区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 14.プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 15.区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16.その他 ●理由: 			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">80%を超えない</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>80%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能	90%以上	80%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			80%を超えない	ばらつきで判断不可能																																
	90%以上	80%以下	80%以下																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3第

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a ⁺	b	b ⁺	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全面所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工面が支持力、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工面において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)																																			
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					
●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a⁺</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a⁺</td> <td>b</td> <td>b⁺</td> <td>b⁺</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b⁺</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b⁺</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									評価値	ばらつきで判断可能				50%以下	80%以下	80%を超過	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a ⁺	b	b	75%以上90%未満	a ⁺	b	b ⁺	b ⁺	60%以上75%未満	b	b ⁺	c	c	60%未満	b ⁺	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を超過	ばらつきで判断不可能																																	
90%以上	a	a ⁺	b	b																																	
75%以上90%未満	a ⁺	b	b ⁺	b ⁺																																	
60%以上75%未満	b	b ⁺	c	c																																	
60%未満	b ⁺	c	c	c																																	
注: 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					

25

別紙-3第

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a ⁺	b	b ⁺	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 管路の通過試験を行っており、試験結果から全面所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 特殊部の施工面が支持力、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 特殊部の施工面において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. その他 (理由: _____)																																			
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					
●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超過</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a⁺</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a⁺</td> <td>b</td> <td>b⁺</td> <td>b⁺</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b⁺</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b⁺</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									評価値	ばらつきで判断可能				50%以下	80%以下	80%を超過	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a ⁺	b	b	75%以上90%未満	a ⁺	b	b ⁺	b ⁺	60%以上75%未満	b	b ⁺	c	c	60%未満	b ⁺	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を超過	ばらつきで判断不可能																																	
90%以上	a	a ⁺	b	b																																	
75%以上90%未満	a ⁺	b	b ⁺	b ⁺																																	
60%以上75%未満	b	b ⁺	c	c																																	
60%未満	b ⁺	c	c	c																																	
注: 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					

25

新旧対照表

現 行 (平成31年4月)

改 正 (令和8年4月)

別紙-3第

審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工 種							
		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 □ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 					<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 □ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 					<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。

別紙-3第

審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工 種							
		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 □ 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 □ 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 3. 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 4. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 					<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 □ 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 □ 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 3. 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 4. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 理由： _____ 					<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修繕指示を行った。

新旧対照表

現 行 (平成31年4月)

改 正 (令和8年4月)

別紙-3第

考査項目別運用表

考査項目	工 種						(検 査 員)	
		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕事をもとに詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係る成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、<u>操作性にすぐれている</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を<u>下取している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が<u>点検しやすいうつ取している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配設、交換頻度の高い部品等の交換作業を<u>容易にできるように下取している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンタクトの配合試験及び試験機を實施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を踏まえ、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <p>その他 { 理由: }</p> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が90%以上・・・・・・ a ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・ b ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' ※ 評価値が60%未満・・・・・・ c <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 詳細値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>							
電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 製作前手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を確認して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の動作が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を<u>上取し</u>作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできる<u>よう下取している</u>ことが確認できる。 <p>その他 { 理由: }</p> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が90%以上・・・・・・ a ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・ b ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' ※ 評価値が60%未満・・・・・・ c <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 詳細値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>								

27

別紙-3第

考査項目別運用表

考査項目	工 種						(検 査 員)	
		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 2. 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 3. 設計図書の仕事をもとに詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 機器の機能及び性能に係る成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 5. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 6. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 7. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、<u>正常に作動することが確認できる</u>。 <input type="checkbox"/> 8. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 9. 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 設備の取扱説明書を<u>適切に作成している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 機器の配置について、<u>点検しやすいうつ取している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 設備の構造や機器の配設について、交換頻度の高い部品等の交換作業を<u>容易にできるように下取している</u>ことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 二次コンタクトの配合試験及び試験機を實施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 現地状況を踏まえ、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他 { 理由: } <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が90%以上・・・・・・ a ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・ b ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' ※ 評価値が60%未満・・・・・・ c <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 詳細値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>							
電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 製作前手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を確認して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 操作制御設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の動作が確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 設備全体についての取扱説明書を<u>適切に作成</u>（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 設備の構造について、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 図面、<u>異常発生を想定した代替機器、異同などのフェールセーフ機能を現物試験等で確認していることが確認できる</u>。 <input type="checkbox"/> 14. 設備の新設計について、<u>受注者らが確認、精査したことが確認できる</u>。 <input type="checkbox"/> 15. その他 { 理由: } <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が90%以上・・・・・・ a ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・ b ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' ※ 評価値が60%未満・・・・・・ c <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 詳細値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>								

27

新旧対照表

現 行 (平成31年4月)

改 正 (令和8年4月)

別紙-3節

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工 種	a			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	●評価対象項目 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ クラックが無い。 □ 漏水が無い。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	土工事 (盛土・築堤工事等)	●評価対象項目 □ 仕上がりが良い。 □ 通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 構造物へのすりつけなどが良い。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	切土工事	●評価対象項目 □ 規定された勾配が確保されている。 □ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 □ 法面勾配の変化部について、手洗部を設けるなど適切に施工されている。 □ 溜水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 □ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 材料の組み合わせがよく、クラックが無い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	擁壁工事	●評価対象項目 □ 表面に補修箇所が無い。 □ 部材表面に傷及び錆が無い。 □ 縦横に均一性がある。 □ 塗装に均一性がある。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	地すべり防止工事	●評価対象項目 □ 地山との取り合いが良い。 □ 天端、端部の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d		
	舗装工事	●評価対象項目 □ 舗装の平坦性が良い。 □ 構造物の通りが良い。 □ 端部処理が良い。 □ 構造物へのすりつけ等が良い。 □ 雨水処理が良い。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	法面工事	●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 縦生、伏付等の状態が均一である。 □ 端部処理が良い。 □ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d		

別紙-3節

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	工 種	a			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	●評価対象項目 □ 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ 2. コンクリート構造物の通りが良い。 □ 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ 4. クラックが無い。 □ 5. 漏水が無い。 □ 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	土工事 (盛土・築堤工事等)	●評価対象項目 □ 1. 仕上がりが良い。 □ 2. 通りが良い。 □ 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 4. 構造物へのすりつけなどが良い。 □ 5. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	切土工事	●評価対象項目 □ 1. 規定された勾配が確保されている。 □ 2. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 □ 3. 法面勾配の変化部について、手洗部を設けるなど適切に施工されている。 □ 4. 溜水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 □ 5. 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □ 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 □ 1. 通りが良い。 □ 2. 材料の組み合わせがよく、クラックが無い。 □ 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 4. 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 5. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	擁壁工事	●評価対象項目 □ 1. 表面に補修箇所が無い。 □ 2. 部材表面に傷及び錆が無い。 □ 3. 縦横に均一性がある。 □ 4. 塗装に均一性がある。 □ 5. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
	地すべり防止工事	●評価対象項目 □ 1. 地山との取り合いが良い。 □ 2. 天端、端部の仕上げが良い。 □ 3. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 4. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d		
	舗装工事	●評価対象項目 □ 1. 舗装の平坦性が良い。 □ 2. 構造物の通りが良い。 □ 3. 端部処理が良い。 □ 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 □ 5. 雨水処理が良い。 □ 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
	法面工事	●評価対象項目 □ 1. 通りが良い。 □ 2. 縦生、伏付等の状態が均一である。 □ 3. 端部処理が良い。 □ 4. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d		

新旧対照表

現 行(平成31年4月)

改 正(令和8年4月)

別紙-3 節

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当し又は	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事(地盤改良等を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土工関係の仕上げが良い。 □ 通りが良い。 □ 端部及び支脚の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 寄地盤改良はc評価とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 	
	III. 出来ばえ	コンクリート橋上部工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 支束部の仕上げが良い。 □ クラックが無い。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	塗装工事(工場塗装を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 塗装の均一性が良い。 □ 細部まできめ細かな施工がされている。 □ 補修箇所が無い。 □ ケレンの施工状況が良好である。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 腐木の接着状況が良い。 □ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 □ 支柱の取り付けが堅固である。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 	
	防護柵(鋼)工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 端部処理が良い。 □ 部材表面に傷及び錆が無い。 □ 既設構造物等とのすりつけが良い。 □ きめ細やかに施工されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	標識工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 設置位置に配慮がある。 □ 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 □ 標識板の支柱に変色が無い。 □ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 塗料の塗布が均一である。 □ 視認性が良い。 □ 接着状態が良い。 □ 施工前の清掃が入念に実施されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	

別紙-3 節

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事(地盤改良等を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土工関係の仕上げが良い。 □ 通りが良い。 □ 端部及び支脚の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 寄地盤改良はb評価以下とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 	<p style="font-size: small; color: red;">※不可視部分は「施工管理記録などから不可視部分の良さが伺える」。可視部分は「土工関係の仕上げが良い」として「施工管理記録などから出来ばえの良さが確認できた場合に評価することとし、地盤改良においては最大2項目の評価とする。</p>
	III. 出来ばえ	コンクリート橋上部工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 支束部の仕上げが良い。 □ クラックが無い。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	塗装工事(工場塗装を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 塗装の均一性が良い。 □ 細部まできめ細かな施工がされている。 □ 補修箇所が無い。 □ ケレンの施工状況が良好である。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 腐木の接着状況が良い。 □ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 □ 支柱の取り付けが堅固である。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 	
	防護柵(鋼)工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 端部処理が良い。 □ 部材表面に傷及び錆が無い。 □ 既設構造物等とのすりつけが良い。 □ きめ細やかに施工されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 	
	標識工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 設置位置に配慮がある。 □ 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 □ 標識板の支柱に変色が無い。 □ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	
	区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 塗料の塗布が均一である。 □ 視認性が良い。 □ 接着状態が良い。 □ 施工前の清掃が入念に実施されている。 □ 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

別紙-3巻

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	評価			
		a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
Ⅲ. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作が良い。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 □ 腐蝕、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 		
Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 □ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 □ ケーブル等の接続方法及び取組状況が適切である。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 		
	維持修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 小構造物等にも注意が払われている。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 		
	電線共同溝工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 □ フェイェンダー(アリの)の蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 □ 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 		
	通信設備工事 受変電設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土設備、関連設備等きめ細かな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 □ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 □ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 		
上記以外の工事又は合併工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 理由: _____ □ 理由: _____ □ 理由: _____ □ 理由: _____ □ 理由: _____ <p>※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 			

別紙-3巻

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	評価			
		a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
Ⅲ. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作が良い。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 □ 腐蝕、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 		
Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 □ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 □ ケーブル等の接続方法及び取組状況が適切である。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 		
	維持修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 小構造物等にも注意が払われている。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 		
	電線共同溝工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 □ フェイェンダー(アリの)の蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 □ 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d 		
	通信設備工事 受変電設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 土設備、関連設備等きめ細かな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 □ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 □ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d 		
上記以外の工事又は合併工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 □ 1.理由: _____ □ 2.理由: _____ □ 3.理由: _____ □ 4.理由: _____ □ 5.理由: _____ <p>※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 			

新旧対照表

現行(平成31年4月)

改正(令和8年4月)

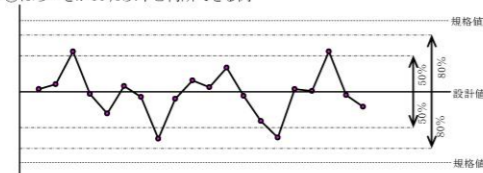
別紙-4

出来形及び品質のばらつきの考え方

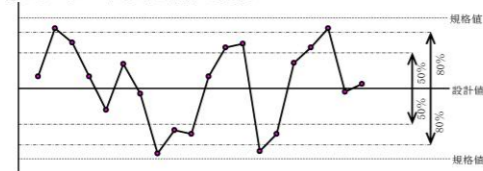
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

①ばらつきが50%以下と判断できる例

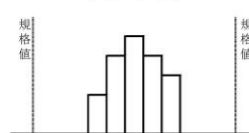


②ばらつきが80%以下と判断できる例

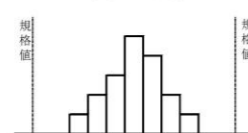


[度数表またはヒストグラムの場合]

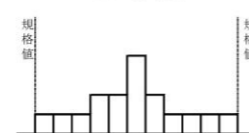
ばらつきが小さい



ばらついている

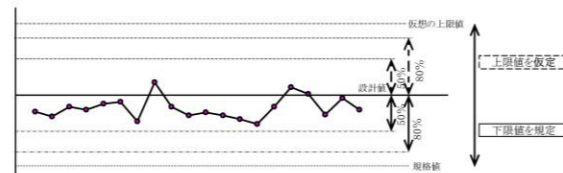


ばらつきが大きい



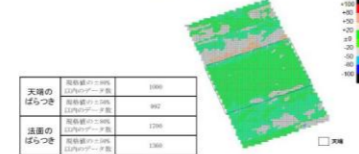
32

(下限値のみの場合)



③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断
ばらつきが50%以下と判断できる例



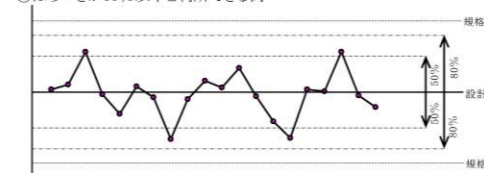
別紙-4

出来形及び品質のばらつきの考え方

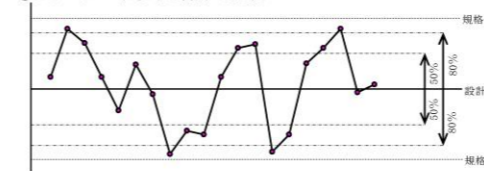
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

①ばらつきが50%以下と判断できる例



②ばらつきが80%以下と判断できる例



[度数表またはヒストグラムの場合]

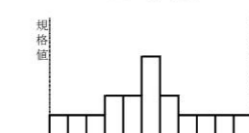
ばらつきが小さい



ばらついている

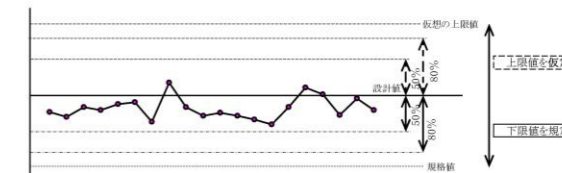


ばらつきが大きい



32

(下限値のみの場合)



③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断
ばらつきが50%以下と判断できる例

